

## 当院で降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた患者さん・ご家族の皆様へ

2012年1月1日から2016年12月31日までの診療記録の医学研究への使用のお願い

### 【研究課題名】

降下性壊死性縦隔炎の発生と治療法および予後に関する観察研究(JBES1703/JACS1806)

### 【研究の目的について】

降下性壊死性縦隔炎とは、菌原性や口腔内感染症や咽頭膿瘍などの深頸部の感染症が筋膜間隙や気管周囲間隙に沿って、肺の間(縦隔)へ進展する重篤かつ難治性の感染症で、致死率の高い疾患です。

そのため日本気管食道科学会および日本呼吸器外科学会へ、認定施設より情報を提供し、本疾患における発生病因、治療効果予測因子や予後予測因子を解析します。そのうえで、これからの標準治療の確立のための基礎データを構築することを目的としています。

### 【研究の対象】

この研究は以下の方を研究対象としています。

2012年1月から2016年12月までに当院にて降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた方。

### 【使用させていただく試料・情報について】

当院におきまして、既に降下性壊死性縦隔炎の治療を受けられた患者さんの診療記録(情報:画像診断情報、初発症状、起病菌、感染経路等)を使用させていただきます。このことは伊勢崎市民病院倫理委員会において厳正に審査され承認され、当院病院長の許可を得ています。また、患者さんの試料および診療情報は、国の定めた「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従い、匿名化したうえで管理しますので、患者さんのプライバシーは厳密に守られます。当然のことながら、個人情報保護法などの法律を遵守いたします。

### 【研究の参加等について】

本研究へ診療情報を提供するかしないかは患者さんご自身の自由です。従いまして、本研究に試料・診療情報を使用してほしくない場合は、遠慮なくお知らせ下さい。その場合は、患者さんの試料・診療情報は研究対象から除外いたします。また、ご協力いただけない場合でも、患者さんの不利益になることは一切ありません。なお、これらの研究成果は学術論文として発表することになりますが、発表後に参加拒否を表明された場合、すでに発表した論文を取り下げることはいたしません。

患者さんの試料・診療情報を使用してほしくない場合、その他、本研究に関して質問などがありましたら、主治医または以下の照会先・連絡先までお申し出下さい。

### 【お問い合わせについて】

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：伊勢崎市民病院

電 話：0270-25-5022 (代表)

担当者：飯島 岬